

我々秋田高校女子卓球部は十月に行われた中央支部新人で秋田商業に敗れ2位となり、翌月の全県新人大会では、第3シードで望むことになりました。準々決勝で強豪の由利高校に勝利して勢いに乗り、決勝リーグを迎えました。初戦の大曲には3対1で勝利し、2試合目で運命の秋田商業戦を迎えました。秋田商業は昨年まで新人戦で六連覇を達成し、東北大会でも何度も優勝している強豪中の強豪です。最初から相手に飲み込まれないよう全力でぶつかりましたが、1番、2番とシングルスで連敗し、後がない追い込まれた状況でダブルスを迎えました。ダブルスも相手に先行される苦しい展開となりましたが逆転し、3対2で勝利することができました。その結果明らかに試合の流れが変わり、4番、5番とどちらもフルセットの厳しい勝負に競り勝ち、勝利を収めることができました。まさに部員全員が一丸となってつかみ取った粘りの勝利でした。最後の聖霊戦では3対0で勝利し、全勝で優勝することができました。秋田高校女子団体での全県優勝は初となります。近年県大会で3位までに入賞する力をつけてはいましたが、準決勝の壁に何度も跳ね返されており悲願の初優勝となりました。

しかし、卓球競技は全県新人大会で優勝しても全国選抜の切符は勝ち取れません。東北選抜で6位に入賞することが条件となります。1月の東北選抜まで、全国選抜出場を目標に厳しい練習をこなして本番を迎えました。東北選抜ではまず予選リーグが行われ、3ブロックに分かれ東北各県の1位から3位の6高校と総当たりで行われます。初戦の福島東陵戦に3対1で勝利、2試合目の弘前実業にも3対1で連勝し最高のスタートを切ることができました。3試合目は勝負の鶴岡東戦で、同じく3対1で勝利し、3連勝で1日目を終えました。2日目は4試合目の専大北上戦は大苦戦したものの3対2で勝利を収め、5試合目の聖和学園には1対3で敗れはしましたが4勝1敗、予選リーグ2位で全国選抜出場を決めることができました。全勝した選手はいませんでした、全敗した選手もいませんでした。絶対的エースという選手はいませんが、まさにチーム力で勝ち取った勝利といえると思います。

3月に福井県で行われる全国選抜では相手にのまれずに自分達のベストの試合ができるようチーム一丸となって頑張ってきます。また二十一年にわたって秋田高校卓球部の柱としてチームを率いてこられた総監督伊藤則和先生の最後の試合となります。ご声援よろしくお祈りします。